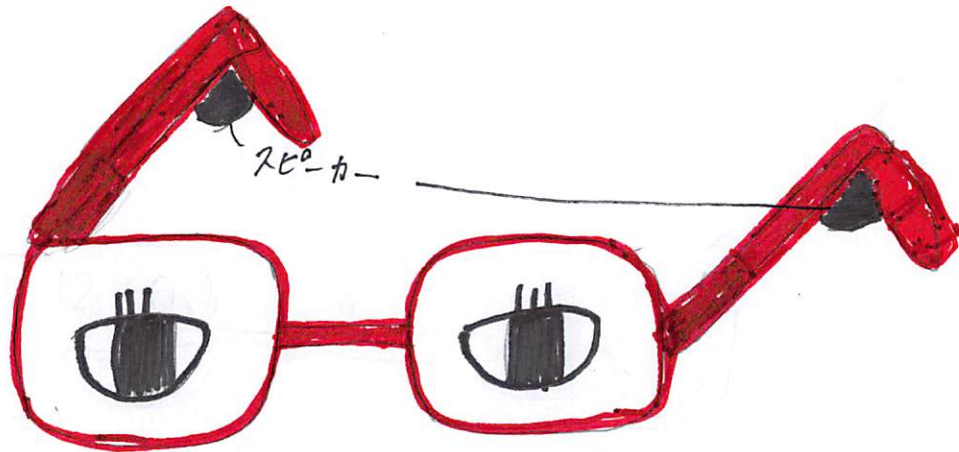
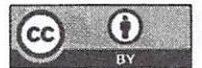


「時計」の再発明

29 年度 竹園東 中学校 9 年 2 組 8 班

これまでの問題点（現在ある製品の課題など）

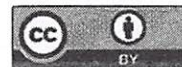
再発明した製品の説明（要約）※図と文章で簡潔に説明すること！



参考にしたもの、（この再発明を考えるきっかけになった製品やアイデアをできるだけ具体的に書く！）

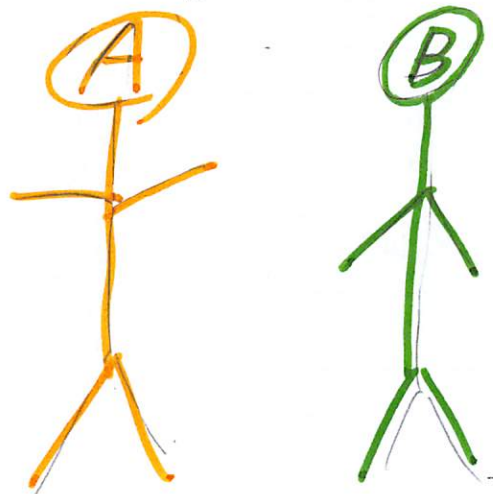
「時計」の再発明

29年度 竹園東中学校 9年2組8班

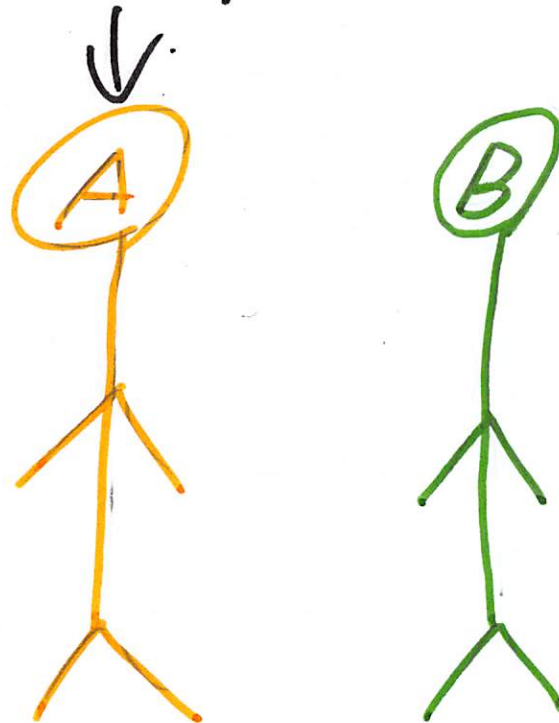


問題点

人と話している。



時計を見たいが、人と話
しているため見れない。



※ここに書かれたアイデアは、個人名を削除した上で、Web など様々なメディアに公開されます。

仕組み

目を動かすと、センサーが動きを感知し、空気ではなく骨を振動させて音を鼓膜が伝える

→ 骨伝導を利用

改善点

腕時計 → 腕の動作がないと時間がかかかない。
時間を知らせる。

改善した時計 → 骨電動で

腕時計



動作が必要

改善した時計



何もないう時間がかかる

メリット

- 。時計を見なくても時間が分かる。
- 。音楽とラジオがきける。

デメリット

- 。くわしい時間が分からない。